

(様式第9)

弘大病総 第1117号
平成21年10月1日

厚生労働大臣

開設者名 国立大学法人弘前大学
管理者名 弘前大学医学部附属病院
病院長 花田 勝

弘前大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|-----|
| 研修医の人数 | 15人 |
|--------|-----|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|------|-----|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医師 | 287人 | 3人 | 288.2人 | 看護業務補助 | 21人 | 診療エックス線技師 | 0人 |
| 歯科医師 | 11人 | 0人 | 11.0人 | 理学療法士 | 7人 | 臨床検査技師 | 42人 |
| 薬剤師 | 22人 | 1人 | 22.7人 | 作業療法士 | 3人 | 衛生検査技師 | 0人 |
| 保健師 | 0人 | 0人 | 0.0人 | 視能訓練士 | 1人 | その他 | 0人 |
| 助産師 | 25人 | 0人 | 25.0人 | 義肢装具士 | 0人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0人 |
| 看護師 | 453人 | 18人 | 466.5人 | 臨床工学技士 | 5人 | 医療社会事業従事者 | 2人 |
| 准看護師 | 0人 | 0人 | 0.0人 | 栄養士 | 0人 | その他の技術員 | 8人 |
| 歯科衛生士 | 0人 | 1人 | 0.7人 | 歯科技工士 | 1人 | 事務職員 | 110人 |
| 管理栄養士 | 4人 | 0人 | 4.0人 | 診療放射線技師 | 29人 | その他の職員 | 15人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|----------|-------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 502.9人 | 10.1人 | 513.0人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,392.3人 | 48.3人 | 1,440.6人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 692.4 剤 | | |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 7人 |
| 顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|---------------------------------------|--------|
| 乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性的のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 神経芽腫のRNA診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性的のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支がん病変に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクニタルホーン症候群に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 0人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 色素性乾皮症に係る遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|--------------------------------------|--------|
| 自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 3人 |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|---------------------------------------|--------|
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| 内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱い患者数 | 疾患名 | 取扱い患者数 |
|------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 81人 | ・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症) | 10人 |
| ・多発性硬化症 | 51人 | ・ウェゲナー肉芽腫症 | 6人 |
| ・重症筋無力症 | 62人 | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 25人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 203人 | ・多系統萎縮症 | 24人 |
| ・スモン | 1人 | ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 11人 |
| ・再生不良性貧血 | 31人 | ・膿疱性乾癬 | 6人 |
| ・サルコイドーシス | 54人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 2人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 20人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 35人 |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 101人 | ・重症急性膵炎 | 1人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 44人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 60人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 14人 | ・混合性結合組織病 | 17人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 192人 | ・原発性免疫不全症候群 | 2人 |
| ・大動脈炎症候群 | 22人 | ・特発性間質性肺炎 | 7人 |
| ・ピュルガー病 | 23人 | ・網膜色素変性症 | 52人 |
| ・天疱瘡 | 14人 | ・プリオン病 | 2人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 53人 | ・原発性肺高血圧症 | 2人 |
| ・クローン病 | 100人 | ・神経線維腫症 | 17人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 3人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 0人 |
| ・悪性関節リウマチ | 10人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 0人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 200人 | ・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型) | 1人 |
| ・アミロイドーシス | 6人 | ・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む | 0人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 81人 | ・副腎白質ジストロフィー | 1人 |
| ・ハンチントン病 | 0人 | | |

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

| | | | |
|-------------------------------------|--|-----|------------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 | | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | ・消化器(内科・外科)病理合同カンファレンス週1回 ・泌尿器・病理合同カンファレンス週1回 | | |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 | 27例 | 剖検率 15% |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|-------|--------------|------------|------------|
| 熱傷における温度センサーを介する表皮細胞の冷却機構 | 澤村大輔 | 皮膚科学 | 3,400,000 | 補委 文部科学省 |
| ダウン症候群に伴う急性巨核球性白血症の多段階発症の分子機構 | 伊藤悦朗 | 小児科学 | 9,400,000 | 補委 文部科学省 |
| ダウン症候群に伴う白血病発症の原因遺伝子の同定 | 伊藤悦朗 | 小児科学 | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| てんかんの分子病態の解析 | 兼子直 | 神経精神医学 | 13,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| In Vivo Patch 法にちよるprestin導入再生内耳の直接的能 | 欠畑誠治 | 耳鼻咽喉科学 | 3,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 神経障害性オリゴマー制御によるアルツハイマー病の新規診断・治療法開発と臨床応用 | 東海林幹夫 | 脳神経内科学 | 5,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| GATA1遺伝子変異による一過性白血症の分子機構の解明と分子標的療法の開発 | 伊藤悦朗 | 小児科学 | 6,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| VII型コラーゲン遺伝子改変マウスによる栄養障害と後天性表皮水泡症の新規モデル | 澤村大輔 | 皮膚科学 | 5,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肺がん幹細胞分離・分析と治療法開発 | 西條康夫 | 腫瘍内科学 | 5,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 新しい睡眠調節理論の全身麻酔機序解明への応用 | 吉田仁 | 集中治療部 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 糖尿病性腎炎感受性遺伝子マーカーとしてのSLC12A3遺伝子多型の意義 | 保嶋実 | 臨床検査医学 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 新規昇圧物質カップリングファクター6の網羅的機能解析と心血管病態形成機序の解明 | 長内智宏 | 循環器呼吸器腎臓内科 | 1,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| リポドラフトのアミロイドβ蛋白オリゴマーを標的とした治療法の開発 | 瓦林毅 | 神経内科 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 急性巨核性白血症の表現型における転写因子BACH1及びGATA-1の機能解析 | 土岐力 | 小児科学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 脳循環自動調節能のメカニズムに関する分子生物学的研究 | 大熊洋揮 | 脳外科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 骨の細胞外マトリックス研究 - 糖鎖の変化は骨脆弱性のイニシエーターか - | 樋口毅 | 産科婦人科 | 2,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 骨芽細胞・骨芽核細胞を用いた加齢によるメカニカルストレス誘導骨形成・骨代謝解析 | 楠美昭則 | 臨床薬理学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 薬物感受性判定を目指した乳がん細胞発現蛋白検索法開発 | 立石智則 | 臨床薬理学 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 新規昇圧物質カップリングファクター6の心肥大・心不全病態形成の役割 | 佐々木真吾 | 循環器呼吸器腎臓内科 | 1,900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 冠縮性狭心症の成因に関する臨床分子生物学的研究:P122蛋白の役割 | 奥村謙 | 循環器呼吸器腎臓内科 | 1,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ダウン症候群の一過性骨髄増殖性疾患と急性巨核性白血症における細胞増殖機構の解明 | 照井君典 | 小児科学 | 1,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 皮膚有棘細胞癌におけるRafキナーゼ抑制蛋白の抗腫瘍効果解析と、治療的応用の検討 | 六戸大樹 | 皮膚科学 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 間葉系幹細胞を用いた移植免疫操作の開発と応用 | 鳴海俊治 | 消化器・乳腺・甲状腺外科 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 上行性賦活系を応用した麻酔覚醒機序の検討:速やかな覚醒と穏やかな回復を目指して | 榑方哲也 | 麻酔科学 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ナノパーティクルBCGによる副作用のない膀胱療法の開発 | 盛和行 | 泌尿器科学 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 卵巣癌に対する新規抗腫瘍剤開発のための基礎的研究 | 横山良仁 | 産科婦人科学 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 分子標的治療薬とプロテオグリカンによるグリオーマ細胞吸着療法の開発 | 浅野研一郎 | 脳神経外科 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 抗ヘリコバクター・ヘパティカス抗体測定系の開発と肝胆疾患の関連 | 下山克 | 消化器・血液・膠原病内科 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 精子運動機能を改善する合成ペプチドの同定とその機序解明 | 大山力 | 泌尿器科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 生理活性物質ウロテンシンIIの全身麻酔及び睡眠への関与 | 廣田和美 | 麻酔科学 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| Lipid raftはOHCの情報伝達を調節する - 運動能における脂質の機能解明 - | 欠畑誠治 | 耳鼻咽喉科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 構造蛋白異常としての表皮水泡症における協調的ヘテロ接合 | 澤村大輔 | 皮膚科学 | 3,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| メタボロミクスを基にしたヒト胚の品質評価法の開発 | 藤井俊策 | 産科婦人科 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| マウス外有毛細胞prestin発現様式特異性の多角的検討 | 阿部尚央 | 耳鼻咽喉科 | 1,350,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 大規模調査による聴覚障害と全身性基礎疾患の関連の解明 | 佐々木亮 | 耳鼻咽喉科学 | 1,350,000 | 補委 日本学術振興会 |

| | | | | | |
|---|------|-----------|-----------|----|-----------------|
| ラット卵巣動脈結紮による発育遅延モデル -血管系の発達に及ぼす影響- | 山本善光 | 産科婦人科 | 500,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 音響力学による新しい皮膚癌治療法の開発 | 松崎康司 | 皮膚科 | 900,000 | 補委 | 文部科学省 |
| メトロンによる抗癌剤の副作用軽減を目指した 新しい治療法の開発 | 二神真行 | 産科婦人科 | 1,800,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 新しいドラッグデリバリーシステムを用いた内耳 再生医療へのアプローチ | 二井一則 | 耳鼻咽喉科 | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 悪性黒色腫随伴網膜炎の分子病態の解析と臨 床応用 | 山崎仁志 | 眼科 | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 新規分化誘導遺伝子RIG-1の導入による新たな 口腔癌治療法の開発 | 榊 宏剛 | 歯科口腔外科 | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 細胞膜銅輸送タンパク遺伝子発現を用いた白金 系抗癌剤薬剤感受性予測の試み | 高畑武功 | 腫瘍内科学 | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 神経伝達物質測定によるレポドバ湯発ジスキネ ジアの解明 | 新井 陽 | 脳神経内科学 | 500,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 急性感音難聴におけるステロイドTargetgene作 用点の解明 | 広瀬由紀 | 耳鼻咽喉科 | 2,500,000 | 補委 | 文部科学省 |
| 先天性副腎過形成症マス・スクリーニング検査 | 伊藤悦朗 | 小児科 | 6,630,000 | 補 | 青森県 |
| 先天性甲状腺機能低下症マス・スクリーニング 検査 | 伊藤悦朗 | 小児科 | 6,873,000 | 補 | 青森県 |
| 小児がん等がん調査事業に関するデータの集 計・解析等 | 伊藤悦朗 | 小児科 | 3,000,000 | 補 | 青森県 |
| 小児期待異的血液疾患の分子遺伝子的解明 | 伊藤悦朗 | 小児科 | 1,000,000 | 補 | 国立成育医療セ ンター |
| 副作用(悪性症候群・選発性錐体外路症状・催 奇形成) | 兼子 直 | 神経精神医学 | 430,000 | 補 | 国立神経・精神 センター |
| てんかんの個別化治療の開発に関する研究 | 兼子 直 | 神経精神医学 | 700,000 | 補 | 国立神経・精神 センター |
| 心サルコイドーシスの病態診断と治療に関する 研究 | 奥村 謙 | 循環呼吸腎臓内科学 | 2,000,000 | 補 | 国立循環器病セ ンター |

小計 16件

合計 51件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|----------------------|-----------------------------|
| Journal of Dermatological Science(0923-1811)51巻1号 Page45-51(2008.07) | 正常ヒト皮膚ケラチノサイトにおける230-KDa水疱性類天疱瘡抗原(BPAG1)遺伝子発現のカルシニューリン/NFAT依存性調節(Calcineurin/NFAT-dependent regulation of 230-kDa bullous pemphigoid antigen (BPAG1) gene expression in | AizuTakayuki, ほか | 弘前大学 医学部 皮膚科学講座 |
| Journal of Anesthesia(0913-8668)22巻4号 Page453-456(2008.11) | 肺血栓塞栓症および右室心筋梗塞における、負荷輸液量を測定するためのグルコース初期分布容積の利用(Use of initial distribution volume of glucose to determine fluid volume loading in pulmonary thromboembolism and right ventricular | HashibaEiji, ほか | 弘前大学医学部附属病院 集中治療部 |
| Journal of Anesthesia(0913-8668)22巻3号 Page300-303(2008.08) | 眼科手術を受ける糖尿病患者における、重度の徐脈を伴うが低血圧を伴わない、バイスペクトル指数の著しい低下(Marked reduction in bispectral index with severe bradycardia without hypotension in a diabetic patient undergoing ophthalmic | HashimotoHiroshi, ほか | 弘前大学 医学部 麻酔科学教室 |
| General Thoracic and Cardiovascular Surgery(1863-6705)56巻4号 Page170-176(2008.04) | インプロテレンールにより刺激された肥大心筋芽細胞における酸化ストレスの役割(Role of oxidative stress in hypertrophied myoblasts stimulated by isoproterenol)(英語) | ItohKazuo, ほか | 弘前大学 医学部 医学科胸部心臓血管外科学 |
| Archives of Histology and Cytology(0914-9465)71巻2号 Page101-114(2008.09) | キレート化Fe(II)は虚血と再灌流を受けたラット腎臓内で生成し、二価金属キレート剤の2,2'-ジピリジルは腎臓の急性虚血/再灌流障害を軽減する 灌流-Perls及びTurnbull法による組織化学的研究(Chelatable Fe (II) is generated in the rat kidneys | IwatsukiHiroyasu, ほか | 弘前大学 医学研究科神経解剖細胞組織学 |
| Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery(1341-1098)14巻4号 Page210-217(2008.08) | スーパーオキシドラジカルの増加と血管内皮増殖因子及び誘導型一酸化窒素シンターゼ濃度の減少は圧過負荷ラット心臓モデルにおいて左室肥厚への進行をもたらす(Increased Selperoxide Radical with a Decrease in Vascular Endothelial Growth | JiKaiqiang, ほか | 弘前大学 医学部 胸部心臓血管外科学 |
| Neuroscience Research(0168-0102)60巻4号 Page397-405(2008.04) | 聴覚誘発脳磁界におけるN100m電流源のダイナミック移動 ヒト聴覚皮質における同側対側応答の比較(Dynamic movement of N100m current sources in auditory evoked fields: Comparison of ipsilateral versus contralateral responses in human | JinChun Yu, ほか | 弘前大学医学部附属脳神経血管病態研究施設 脳神経内科学 |
| Internal Medicine(0918-2918)47巻13号 Page1245-1249(2008.07) | 左外転神経の麻痺が伴ったリンパ球性下垂体炎の進行期症例(A Progressive Case of Lymphocytic Hypophysitis Accompanied by Paresis of the Left Abducens Nerve)(英語) | KageyamaKazunori, ほか | 弘前大学 医学研究科内分泌代謝内科 |
| Endocrine Journal(0918-8959)55巻4号 Page777-783(2008.08) | 下垂体機能低下症のインスリン耐性試験(ITT)に代る、成長ホルモン放出ペプチド-2(GHRP-2)試験の有用性(Diagnostic Usefulness of the Growth Hormone-Releasing Peptide-2 Test as a Substitute for the Insulin Tolerance Test in | KageyamaKazunori, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科内分泌代謝内科学講座 |
| Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery(0944-1166)15巻6号 Page608- | ラット再生肝の肝細胞上のヘパラン硫酸の解析(Characterization of heparan sulfate on hepatocytes in regenerating rat liver)(英語) | KimuraAkitoshi, ほか | 弘前大学 医学研究科外科 |
| International Journal of Urology(0919-8172)16巻3号 Page333-335(2009.03) | 28歳男性におけるXp11転座骨細胞癌の攻撃的経過(An aggressive course of Xp11 translocation renal cell carcinoma in a 28-year-old man)(英語) | KoieTakuya, ほか | 弘前大学 医学研究科泌尿器科学 |
| Pathology International(1320-5463)58巻11号 Page687-694(2008.11) | ホルモン療法後に施行した根治的前立腺摘除標本における癌の免疫組織化学的検出(Immunohistochemical detection of carcinoma in radical prostatectomy specimens following | KusumiTomomi, ほか | 弘前大学 医学部 病理生命科学 |
| Journal of Radiation Research(0449-3060)49巻3号 Page261-268(2008.05) | 放射線誘発晩期直腸損傷における低酸素の発現(Hypoxia Expression in Radiation-induced Late Rectal Injury)(英語) | LiuYong, ほか | 弘前大学 医学研究科放射線科学講座 |
| Archives of Histology and Cytology(0914-9465)71巻4号 Page205-222(2008.12) | ラット脳における非ヘム2価鉄、3価鉄イオンの含有細胞と細胞内局在性 灌流Perls法と灌流Turnbull法による光学顕微鏡と電子顕微鏡による観察(Cellular and subcellular localizations of nonheme | MeguroReiko, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科神経解剖・細胞組織学 |

小計14件

| | | | |
|---|---|-----------------------|----------------------------------|
| General Thoracic and Cardiovascular Surgery(1863-6705)56巻5号 Page215- | 正常大動脈および罹患大動脈に対する腋窩動脈灌流の流体力学的評価(Hydrodynamic evaluation of axillary artery perfusion for normal and diseased aorta)(英語) | MinakawaMasahito, ほか | 弘前大学 医学部 医学科胸部心臓血管外科 |
| Esophagus(1612-9059)5巻3号 Page171-175(2008.09) | 顆粒球コロニー刺激因子を産生する食道癌肉腫1症例報告(Carcinosarcoma of the esophagus producing granulocyte-colony stimulating factor: report of a case)(英語) | MiyamotoKeiichi, ほか | 弘前大学 医学部 外科学 |
| Biomedical Research(0388-6107)29巻2号 Page71-76(2008.04) | Claudin-1の発現減少は食道扁平上皮細胞癌の再発と相関する(Decreased expression of claudin-1 is correlated with recurrence status in esophageal squamous cell carcinoma)(英語) | MiyamotoKeiichi, ほか | 弘前大学 医学部 病理生命科学 |
| Radiation Medicine(0288-2043)26巻8号 Page494-498(2008.10) | 各種ヨウ素濃度の造影剤のホーラス投与と、頭蓋内三次元CT血管造影への配送速度 マルチスライスCTスキャナーを用いた頭蓋内動脈造影の評価(Bolus injection of contrast agents with various iodine concentrations and delivery rates | NagahataMorio, ほか | 弘前大学 医学研究科放射線科学 |
| Internal Medicine(0918-2918)48巻4号 Page235-240(2009.02) | 副腎皮質腺腫に関連する副腎の内皮性嚢胞腫瘍そっくりの術前画像(Endothelial Cyst of the Adrenal Gland Associated with Adrenocortical Adenoma: Preoperative Images Simulate Carcinoma)(英語) | NigawaraTakeshi, ほか | 弘前大学 医学研究科内分泌代謝内科学 |
| Endocrine Journal(0918-8959)55巻2号 Page291-297(2008.04) | 60歳代ではじめて副腎皮質偶発腫瘍が明らかになった、非古典的21-hydroxylase欠損症(NC 21OHD)男性の1例(A Male Case of Nonclassical 21-hydroxylase Deficiency First Manifested in His Sixties with Adrenocortical Incidentaloma)(英語) | NigawaraTakeshi, ほか | 弘前大学 医学研究科内分泌代謝内科学講座 |
| The Journal of Dermatology(0385-2407)35巻6号 Page336-340(2008.06) | 劣性栄養障害性表皮水泡症に起因する扁平上皮癌の管理におけるセンチネルリンパ節生検の意義(Significance of sentinel node biopsy in the management of squamous cell carcinoma arising from recessive dystrophic epidermolysis | RokunoheAkiko, ほか | 弘前大学 医学研究科皮膚科学 |
| Digestive Endoscopy(0915-5635)20巻2号 Page67-72(2008.04) | 潰瘍性大腸炎の重症度評価のための、粘膜表面粗度の内視鏡的定量化(ENDOSCOPIC QUANTIFICATION OF MUCOSAL SURFACE ROUGHNESS FOR GRADING SEVERITY OF ULCERATIVE COLITIS)(英語) | SasakiYoshihiro, ほか | 弘前大学医学部附属病院 医療情報部 |
| The Tohoku Journal of Experimental Medicine(0040-8727)214巻4号 Page351-358(2008.04) | ウサギにおける網脈静脈カニューレ挿管及び組織プラスミノゲン活性化因子注入のガイドとしてのインドシアニングリーンの有用性(Indocyanine Green as Useful Guide for Retinal Vein Cannulation and Injection of Tissue Plasminogen | SuzukiKaori, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 |
| Biomedical Research(0388-6107)29巻2号 Page99-103(2008.04) | TNF- α によるヒト膵臓MIA-PaCa2癌細胞の増殖における期間の関与(Period is involved in the proliferation of human pancreatic MIA-PaCa2 cancer cells by TNF- α)(英語) | SuzukiTakahiro, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科病理生命科学 |
| Journal of Artificial Organs(1434-7229)11巻3号 Page160-162(2008.09) | 人工筋肉を用いたdynamic cardiomyoplasty(Dynamic cardiomyoplasty using artificial muscle)(英語) | SuzukiYasuyuki, ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| Journal of Artificial Organs(1434-7229)11巻3号 Page111-116(2008.09) | Poly-2-methoxyethylacrylateでコーティングしたバイパス回路は先天性心疾患の手術における凝固系と炎症反応の活性化を低下させる(Poly-2-methoxyethylacrylate-coated bypass circuits reduce activation of coagulation system and | SuzukiYasuyuki, ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| Therapeutic Apheresis and Dialysis(1744-9979)12巻4号 Page264-270(2008.08) | 人工肝補助としての血漿交換排液浄化循環透析法(Plasma Exchange-based Plasma Recycling Dialysis System as an Artificial Liver Support)(英語) | TakahashiKentaro, ほか | 弘前大学 医学部 第2外科 |
| Surgery Today(0941-1291)39巻1号 Page80-82(2009.01) | 小児における肝副葉軸捻転 1症例報告(Torsion of an Accessory Lobe of the Liver in a Child: Report of a Case)(英語) | UmeharaMinoru, ほか | 弘前大学 医学部 小児外科 |
| Internal Medicine(0918-2918)47巻24号 Page2179-2182(2008.12) | TBP遺伝子におけるわずかなトリヌクレオチド反復拡大が引き起こすMRIによる異常被殻所見を伴うSCA17の散発性症例(A Small Trinucleotide Expansion in the TBP Gene Gives Rise to a Sporadic Case of SCA17 with Abnormal Putaminal | WatanabeMitsunori, ほか | 弘前大学大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設 脳神経内科学 |
| Journal of Orthopaedic Science(0949-2658)13巻3号 Page211-217(2008.05) | 仮骨化による延伸仮骨の数値的形態解析による評価(Evaluation of lengthened callus by callotaxis with analysis of mathematical morphology)(英語) | YamasakiY., ほか | 弘前大学 医学研究科整形外科学 |

小計16件

| | | | |
|---|--|-------------------|-------------------------|
| Archives of Histology and Cytology(0914-9465)71巻2号 Page115-122(2008.09) | ゴールデンハムスターの副腎髄質副腎細胞上の神経終末に関する電子顕微鏡 松果体切除に起因する位置、サイズ及び変化(An electron microscopic study on nerve endings on adrenomedullary adrenaline cells in golden | YamauchiTakao, ほか | 弘前大学 医学研究科生体構造医科学 |
| 弘前医学(0439-1721)60巻1-4 Page18-26(2009.03) | Coupling factor 6過剰発現マウスの作成と表現型の解析(GENERATION AND CHARACTERIZATION OF COUPLING FACTOR 6-OVEREXPRESSION TRANSGENIC | 芦立俊宗, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科循環呼吸腎臓内科学 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)20巻4号 Page528-532(2008.12) | ナビゲーションを用いた人工膝関節置換術の下肢アライメント 従来法との比較 | 井上亮, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科 |
| 泌尿器科紀要(0018-1994)54巻10号 Page673-676(2008.10) | 薄筋弁で修復した難治性回腸新膀胱腔瘻の1例 | 岡本亜希子, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器科学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)60巻1-4 Page36-44(2009.03) | 低酸素による心筋細胞Insulin-like growth factor-1遺伝子発現亢進の役割 心保護作用の機序について(UPREGULATION OF INSULIN-LIKE GROWTH FACTOR-1 GENE EXPRESSION IN CARDIAC MYOCYTES BY HYPOXIA; | 加藤千里, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科循環呼吸腎臓内科学 |
| 臨床眼科(0370-5579)62巻10号 Page1717-1721(2008.10) | Red-eyed shunt syndromeの逆説的悪化と考えられた1例 | 加藤朝香, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 |
| 青森労災病院医誌(0918-1369)18巻1号 Page4-7(2008.04) | ループス腎炎に対するステロイドパルス療法中に発症したヘルペス食道炎の1例 | 花田直之, ほか | 弘前大学 医学部 消化器血液内科 |
| 日本看護学会論文集:看護管理(1347-8184)38号 Page392-394(2008.04) | 看護現場における内服薬管理に関する実態調査(第2報) 内服薬管理の現状分析 | 花田裕香, ほか | 弘前大学 医学部 附属病院 |
| 東北整形災害外科学会雑誌(1348-8694)52巻1号 Page17-21(2008.06) | 特発性大腿骨頭壊死症に対する転子間大腿骨頭前方回転骨切り術の成績 大骨螺子とFシステムによる固定の比較 | 岸谷正樹, ほか | 弘前大学 整形外科 |
| 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)69巻4号 Page790-794(2008.04) | 気管前リンパ節再発巣を外科的切除した食道胃接合部発生食道腺扁平上皮癌の1例 | 宮本慶一, ほか | 弘前大学 消化器外科 |
| 東北止血・血栓研究会会誌(0914-6598)XXIII号 Page11-14(2008.12) | 分娩後9ヵ月後に発症した後天性血友病の1例 | 玉井佳子, ほか | 弘前大学 医学部 消化器血液内科 |
| 泌尿器科紀要(0018-1994)55巻2号 Page75-78(2009.02) | 根治的膀胱全摘除術における手術部位感染の危険因子に関する検討 吸収糸による皮膚埋没縫合の有用性 | 古家琢也, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器科学講座 |
| 臨床薬理の進歩(0914-4366)29号 Page175-179(2008.07) | 統合失調症における長期予後とドパミン関連遺伝子多型の関係について | 古郡規雄, ほか | 弘前大学 医学部 神経精神医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌(1341-0865)18巻1号 Page45-56(2008.10) | Helicobacter pylori感染と動脈硬化との関連に関する疫学研究 岩木健康増進プロジェクトにおける一般住民での検討 | 古川照美, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体外循環技術(0912-2664)36巻1号 Page28-31(2009.03) | 新しい補助人工心臓装置による患者搬送経験 | 後藤武, ほか | 弘前大学 医学部 附属病院 MEセンター |
| 臨床眼科(0370-5579)62巻10号 Page1723-1726(2008.10) | 硝子体出血を生じたため硝子体手術を行った加齢黄斑変性の視力転帰 | 工藤孝志, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 |
| 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)69巻11号 Page2766-2769(2008.11) | 乳癌術後補助化学療法中に皮下埋め込み型中心静脈カテーテルの断裂をきたした1例 | 工藤大輔, ほか | 弘前大学 医学部 消化器乳腺甲状腺外科 |

小計17件

| | | | |
|---|---|-----------|--------------------------|
| Gastroenterological Endoscopy(0387-1207)50巻11号 Page2891-2898(2008.11) | 潰瘍性大腸炎の内視鏡的重症度評価のための粘膜表面粗造度の定量 | 佐々木賀広, ほか | 弘前大学医学部附属病院 医療情報部 |
| Progress in Medicine(0287-3648)29巻Suppl.1 Page633-636(2009.03) | 致死的心室性不整脈に対するアミオダロン静注薬の再発予防効果と副作用の検討 | 佐々木憲一, ほか | 弘前大学 医学部 循環器・呼吸器・腎臓内科 |
| 耳鼻と臨床(0447-7227)54巻3号 Page163-169(2008.05) | 慢性中耳炎に対するレボフロキサシンの効果 | 佐々木亮, ほか | 弘前大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室 |
| 心療内科(1342-9892)12巻5号 Page397-401(2008.09) | 皮下気腫を伴った摂食障害を併発した適応障害の1例 | 佐藤研, ほか | 弘前大学 医学部 消化器・血液内科 |
| 消化器心身医学(1340-8844)15巻1号 Page32-37(2008.04) | IBS患者における非消化管由来の共存病態、併存症状の有無とQOL、自己効力感の検討 | 佐藤研, ほか | 弘前大学 医学部 大学院消化器・血液内科 |
| 小児科臨床(0021-518X)61巻9号 Page1841-1846(2008.09) | 右心耳・右室自由壁間に副伝導路を有する潜在性WPW症候群の小児例 | 佐藤工, ほか | 弘前大学 医学部 小児科 |
| 日本緩和医療薬学雑誌(1882-9783)2巻1号 Page13-19(2009.03) | オピオイドローテーションにおける薬剤経済学的検討 | 佐藤淳也, ほか | 弘前大学医学部附属病院 薬剤部 |
| 緩和医療学(1345-5575)11巻1号 Page52-58(2009.01) | 医学部医学科学生における医療用麻薬に関する知識 系統講義による変化 | 佐藤哲観, ほか | 弘前大学医学部附属病院 麻酔科緩和ケアチーム |
| 日本集中治療医学会雑誌(1340-7988)16巻1号 Page83-84(2009.01) | 肺炎桿菌性敗血症ショックによる電撃性紫斑病の一例 | 斎藤淳一, ほか | 弘前大学医学部附属病院 |
| Audiology Japan(0303-8106)51巻4号 Page270-278(2008.08) | 岩木健康増進プロジェクトにおける聴覚検診の試み | 坂本夏海, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科耳鼻咽喉科学講座 |
| Hip Joint(0389-3634)34巻 Page572-576(2008.11) | TARGON PF nailを用いた大腿骨頸部骨折骨接合術 | 三井博正, ほか | 弘前大学 医学部 整形外科 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)20巻4号 Page607-611(2008.12) | 大腿骨近位部骨折後の肺血栓塞栓症 | 三井博正, ほか | 弘前大学 医学部 整形外科 |
| 栄養-評価と治療(0915-759X)25巻6号 Page489-492(2008.12) | 食事の中のたんぱく質と脂質の実測値と食品成分表値の比較検討 | 三上恵理, ほか | 弘前大学医学部附属病院 栄養管理部 |
| 医学と薬学(0389-3898)61巻3号 Page479-486(2009.03) | 簡易血糖測定器「簡単測糖Gチェッカー」の臨床的有用性に関する検討 | 三上恵理, ほか | 弘前大学医学部附属病院 栄養管理部 |
| 形成外科(0021-5228)52巻3号 Page319-324(2009.03) | 先天性正中鼻瘻孔を伴った前頭・鼻異形成症候群の1例 | 三上誠, ほか | 弘前大学 医学部 形成外科 |
| 東北止血・血栓研究会会誌(0914-6598)XXII号 Page31-33(2008.04) | ステロイド治療が奏功した非典型的な経過を示した血栓性血小板減少性紫斑病の一例 | 山口公平, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科消化器血液内科学講座 |
| 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)69巻8号 Page1897-1901(2008.08) | 滑膜肉腫肺転移手術後長期生存の1例 | 山田芳嗣, ほか | 弘前大学 大学院 胸部心臓血管外科学講座 |
| 胸部外科(0021-5252)61巻13号 Page1161-1164(2008.12) | 一期的根治術と持続的血液濾過透析を施行した大動脈弓離断症B型の1例 | 山内早苗, ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |

小計18件

| | | | |
|---|---|------------|--------------------------------|
| 弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page1- 11(2009.03) | 塩基性ヘアセラチン遺伝子群を欠失する弘前ヘア レスラットの毛包の性質 毛髄質の拡大と毛小皮の 欠損、退行期の延長(CARACTERIZATION OF HAIR FOLLICLES IN HIROSAKI HAIRLESS RATS WITH DELETION OF BASIC HAIR KERATIN GENES. ENLARGED MEDULLA, LOSS OF CUTICLE AND LONG CATAGEN)(英 | 秋田美季, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科ゲノム 生化学講座 |
| 東北脳血管障害研究会 学術集会記録集(1880- 9278)30回 Page15- 20(2008.12) | 破裂脳動脈瘤急性期における再破裂と血圧管理 の意義 | 小笠原ゆかり, ほか | 弘前大学 医学部 脳神経外科 |
| 日本胸部臨床(0385- 3667)68巻2号 Page172- 180(2009.02) | 肺腺癌におけるepidermal growth factor receptor の遺伝子異常と蛋白発現 | 小林正和, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科分子病 態病理学講座 |
| 耳鼻と臨床(0447- 7227)55巻1号 Page39- 45(2009.01) | 通年性アレルギー性鼻炎に対する抗アレルギー薬 の服薬コンプライアンスに関する検討 | 松原篤, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科耳鼻咽 喉科学講座 |
| 臨床整形外科(0557- 0433)43巻10号 Page997-1003(2008.10) | 頸椎椎弓形成術後の包括的健康関連QOL 頸部 日常生活運動機能および軸性疼痛との関連 | 沼沢拓也, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座 |
| 臨床整形外科(0557- 0433)43巻10号 Page1005-1009(2008.10) | 脊椎手術における術前抗菌薬単独投与のみの感 染管理 | 沼沢拓也, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座 |
| 東北整形災害外科学会 雑誌(1348-8694)52巻1 号 Page94-98(2008.06) | 受傷後3日目に膝窩動脈損傷が判明した膝複合 靭帯損傷の1例 | 上里涼子, ほか | 弘前大学 整形外 科 |
| 日本病院薬剤師会雑誌 (1341-8815)44巻6号 Page897-900(2008.06) | レボフロキサシン適正使用のためのPK/PDを考慮 したサーベイランスの試み | 新岡文典, ほか | 弘前大学医学部附 属病院 薬剤部 |
| 小児がん(0389-4525)45 巻3号 Page243- 248(2008.09) | 小児肝細胞癌に対する臨床病理学的検討 | 須貝道博, ほか | 弘前大学医学部附 属病院 小児外科 |
| Progress in Medicine(0287-3648)28 巻4号 Page999- 1006(2008.04) | 自然発症糖尿病GKラットの糖代謝・膵島病変に対 するピタバスタチンの作用 | 水上浩哉, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科分子病 態病理学講座 |
| あたらしい眼科(0910- 1810)25巻10号 Page1443-1446(2008.10) | 強膜弁無縫合改良非穿孔トラベキュラー手術 成績 | 盛泰子, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 講座 |
| 泌尿器外科(0914- 6180)22巻2号 Page176- 177(2009.02) | BCG、ナノパーティクルBCGの直接効果 | 盛和行, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器 科学講座 |
| 日本消化器外科学会雑 誌(0386-9768)41巻10号 Page1848-1853(2008.10) | 直腸に病変の及んだOgilvie症候群の2症例 | 西澤雄介, ほか | 弘前大学 医学部 乳腺甲状腺消化器 外科 |
| 消化器と免疫44号 Page60-61(2008.06) | 潰瘍性大腸炎難治例におけるP-glycoprotein発現 CD8 α β T細胞の意義 | 石黒陽, ほか | 弘前大学 医学部 消化器血液内科 |
| 癌と化学療法(0385- 0684)36巻2号 Page317- 320(2009.02) | Trousseau症候群を来した胃癌の1例 | 川口章吾, ほか | 弘前大学 医学部 消化器血液内科 |
| 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)69巻7号 Page1578-1584(2008.07) | 骨盤内悪性腫瘍の膀胱浸潤例に対する膀胱拡大 術 | 村田暁彦, ほか | 弘前大学 医学部 第2外科 |
| 日本集中治療医学会雑 誌(1340-7988)15巻3号 Page301-306(2008.07) | 肺毛細管楔入圧が正常な急性心筋梗塞患者にお ける胸部インピーダンス法と肺動脈カテーテルを用 いた肺内水分状態および血行動態の検討 | 大川浩文, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科救急・ 災害医学講座 |

小計17件

| | | | |
|---|--|----------------|-----------------------------------|
| Progress in Medicine(0287-3648)28 巻12号 Page3095- 3097(2008.12) | III群抗不整脈薬塩酸ソタロール(ソタコール)の使用 経験 デバイスや他の抗不整脈薬との併用症例 塩酸ニフェカレントと塩酸ソタロールの使用により持 続性心房細動と持続性心室頻拍の双方の抑制が 可能であった非虚血性心筋症の1例 | 大和田真玄 | 弘前大学 医学部 循環器呼吸器腎臓 内科 |
| 弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page27- 35(2009.03) | 【抗C0クワケルマ細胞におけるクグミンとセボフル ランの抗炎症作用関連遺伝子のスクリーニング(A LARGE-SCALE GENE EXPRESSION SCREENING ON ANTI-INFLAMMATORY EFFECTS OF KETAMINE AND SEVOFLURANE IN RAT C6 GLIOMA CELLS)(英語) | 丹羽英智, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科麻酔科 科学講座 |
| 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)70巻3号 Page854-858(2009.03) | 結腸浸潤によりイレウスで発症した膵腺扁平上皮 癌の1例 | 池永照史郎一期, ほか | 弘前大学 消化器 外科 |
| 整形外科最小侵襲手術 ジャーナル(1342- 3991)48号 Page27- 33(2008.09) | 【頸部脊髄症に対する最小侵襲手術】C3椎弓切 除を加えたC2頸半棘筋温存による拡大術 頸椎 症性脊髄症における可動域制限に伴うADL障害 について | 竹内和成, ほか | 弘前大学 整形外 科学教室 |
| 麻酔(0021-4892)58巻2 号 Page195- 198(2009.02) | 術後に予想以上の呼吸不全を来した原発巣不明 の癌性胸水の1症例 | 中井希紫子, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科麻酔科 科学講座 |
| Hip Joint(0389-3634)34 巻 Page96-100(2008.11) | 各種股関節温存手術の長期成績 特発性大腿骨 頭壊死症に対する骨頭温存手術の長期成績 | 中村吉秀, ほか | 弘前大学 整形外 科 |
| 別冊整形外科(0287- 1645)53号 Page142- 147(2008.04) | 【変形性関節症 最近の知識】変形性関節症の臨 床 下肢の新しい人工関節の開発 日本人変形性 股関節症に対するセメントレス大腿骨ステムの開発 HPPステムの中期成績 | 中村吉秀, ほか | 弘前大学 整形外 科 |
| Progress in Medicine(0287-3648)28 巻10号 Page2513- 2516(2008.10) | 皮脂欠乏性湿疹のそう痒に対するセチリジン塩酸 塩の効果の検討 | 中島康爾, ほか | 弘前大学 医学部 皮膚科学講座 |
| 脳卒中の外科(0914- 5508)37巻2号 Page100- 103(2009.03) | 脳内出血に対する軟性鏡手術と硬性鏡手術の比 較 | 中野高広, ほか | 弘前大学 医学部 脳神経外科 |
| 弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page86- 95(2009.03) | 高血圧自然発症ラットの脳内反依存性過力因子 反応におけるカルシウム活性化カリウムチャネルの 障害(IMPAIRMENT OF CALCIUM-ACTIVATED POTASSIUM CHANNELS IN ENDOTHELIUM- DERIVED HYPERPOLARIZING FACTOR RESPONSES IN SPONTANEOUSLY HYPERTENSIVE RATS)(英語) | 長谷川一志, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科循環呼 吸器腎臓内科学講座 |
| 臨床放射線(0009- 9252)53巻10号 Page1231-1237(2008.10) | 四肢・体幹部動脈性出血に対するNBCA塞栓術の 有用性 | 長畑守雄, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科放射線 科学講座 |
| 肩関節(0910-4461)32巻 2号 Page389- 392(2008.06) | 鏡視下腱板修復術後の肩峰下滑液包内ロピバカ イン持続投与 | 津田英一, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座 |
| 青森労災病院医誌 (0918-1369)18巻1号 Page11-13(2008.04) | 胆管腫瘍との鑑別に苦慮したHepatic peribiliary cystsの1例 | 田中宗雄, ほか | 弘前大学 医学部 消化器血液内科 |
| 胸部外科(0021-5252)61 巻5号 Page403- 406(2008.05) | 肺動脈閉鎖と右鎖骨下動脈起始異常を伴うFallot 四徴症に対する姑息的右室流出路形成術の1例 | 渡辺健一, ほか | 弘前大学 呼吸器 心臓血管外科 |
| 産婦人科の実際(0558- 4728)57巻10号 Page1615-1623(2008.10) | 核置換卵子の活性化と染色体分配 | 渡邊誠二, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科生体構 造医科学講座 |
| 青森労災病院医誌 (0918-1369)18巻2号 Page35-38(2008.10) | 嚢胞構造を呈した膵グルカゴノーマの1例 | 島谷孝司, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科消化器 血液内科学講座 |

小計16件

| | | | |
|--|---|-----------|---------------------------|
| Neurological Surgery(0301-2603)36巻10号 Page873-878(2008.10) | 超高齢者破裂脳動脈瘤における局所麻酔下コイル塞栓術および選択的局所動注療法の役割について preliminary report | 嶋村則人, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科脳神経外科 |
| Neurosurgical Emergency(1342-6214)13巻2号 Page162-167(2008.12) | 高齢者破裂脳動脈瘤における局所麻酔下血管内治療の有益性 クリッピング術との比較検討 | 嶋村則人, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科脳神経外科 |
| 青森県作業療法研究(0918-1431)17巻1号 Page63-68(2009.03) | 小指屈筋腱損傷の術後セラピーの経験 | 嶋谷真悟, ほか | 弘前大学医学部附属病院 リハビリテーション部 |
| 弘前医学(0439-1721)60巻1-4 Page96-99(2009.03) | 胸部圧迫症状を呈した食道神経鞘腫瘍の1例 (ESOPHAGEAL SCHWANNOMA PRESENTING WITH CHEST OPPRESSION: REPORT OF A CASE)(英語) | 藤田和歌子, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科胸部心臓血管外科学講座 |
| 日本腎臓学会誌(0385-2385)51巻1号 Page68-73(2009.01) | 末期腎不全前に腹膜透析を導入し、QOLの改善が図れた難治性ネフローゼ症候群の1女子例 | 教賀和志, ほか | 弘前大学 医学部 小児科 |
| 日本婦人科腫瘍学会雑誌(1347-8559)26巻4号 Page472-480(2008.10) | 婦人科腫瘍におけるPET/CT検査の臨床的意義 | 二神真行, ほか | 弘前大学 医学部 産科婦人科学教室 |
| 癌と化学療法(0385-0684)36巻2号 Page237-240(2009.02) | 頭頸部癌に対するS-1の有効性の検討 | 白崎隆, ほか | 弘前大学 医学部 耳鼻咽喉科 |
| Osteoporosis Japan(0919-6307)16巻3号 Page470-472(2008.07) | 服用時間を変えたりセドロネート投与の骨密度、骨代謝への影響についての検討 | 樋口毅, ほか | 弘前大学 医学部 産科婦人科学教室 |
| 産婦人科漢方研究のあゆみ(0913-865X)26号 Page18-23(2009.03) | 更年期精神症状における漢方治療 加味逍遙散を中心に ホルモン補充療法、加味逍遙散投与の更年期障害に対する効果の比較 | 樋口毅, ほか | 弘前大学 医学部 産科婦人科学講座 |
| 法医学の実際と研究(0289-0755)51号 Page211-217(2008.12) | 急性心筋炎による突然死における不整脈の関連性 | 美作宗太郎, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科法医学講座 |
| 日本受精着床学会雑誌(0914-6776)26巻1号 Page341-347(2009.03) | 着床不全症例におけるNK細胞上Natural Cytotoxicity Receptors発現とNK細胞産生サイトカイン | 福井淳史, ほか | 弘前大学 医学部 産科婦人科 |
| 青森県臨床産婦人科医学会誌(0913-8307)23巻1号 Page32-36(2008.10) | 術前診断が可能であったWunderlich症候群の1例 | 福原理恵, ほか | 弘前大学 医学部 産科婦人科学教室 |
| 日本足の外科学会雑誌(0916-7927)29巻2号 Page42-46(2008.05) | 有痛性三角骨障害に対する鏡視下切除術の小経験 | 福田陽, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科 |
| 泌尿器外科(0914-6180)22巻2号 Page187-188(2009.02) | 当科におけるBCG上部尿路灌流療法の長期成績 | 米山高弘, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器科学講座 |
| 法医学の実際と研究(0289-0755)51号 Page205-209(2008.12) | 型的二重結合法によるヒト臓器のABH血液型抗原活性について | 北武, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科法医学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)60巻1-4 Page45-53(2009.03) | Amiodaroneのマトリックスメタロプロテイナーゼ活性に対する作用 ラット心筋梗塞モデルでの検討 (AMIODARONE ATTENUATES THE UPREGULATED MATRIX METALLOPROTEINASE-2 ACTIVITY IN A RAT MYOCARDIAL INFARCTION MODEL)(英語) | 堀内大輔, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科循環呼吸腎臓内科学 |
| 東北膝関節研究会誌(0917-5164)18巻 Page27-30(2008.07) | 高位脛骨骨切り術後に矯正骨切り術を行った2例 | 木村由佳, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科 |

小計17件

| | | | |
|--|---|-----------|---------------------------------|
| 東日本整形災害外科学 会雑誌(1342-7784)20巻 2号 Page253- 257(2008.06) | 両側上腕骨小頭離断性骨軟骨炎と診断した少年 野球選手の1例 | 木村由佳, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科 |
| Audiology Japan(0303- 8106)51巻6号 Page624- 632(2008.12) | 青森県における新生児聴覚スクリーニングに関する アンケート調査 | 初山淳子, ほか | 弘前大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室 |
| 糖尿病(0021-437X)51巻 7号 Page587- 591(2008.07) | SRQ-Dを用いた糖尿病患者における“うつ”の検討 | 友常健, ほか | 弘前大学 医学部 内分泌・代謝内科 |
| 弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page54- 62(2009.03) | 藤ランゲルハンス島に引き起こされる低酸素性機 能障害の経時的変化とメカニズム(HYPOXIA INDUCES DYSFUNCTION AND CELL DEATH OF THE RAT PANCREATIC ISLET)(英語) | 友常健, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科内分泌 代謝内科学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page63- 76(2009.03) | ラット視床下部・神経下垂体における非ヘム2価 (Fe(II))および3価(Fe(III))鉄の局在(NONHEME- IRQN DEPOSITION IN THE HYPOTHALAMO- NEUROHYPOPHYSEAL SYSTEM OF THE RAT BRAIN)(英語) | 李成泰, ほか | 弘前大学 医学研 究科神経解剖・細 胞組織学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)18巻2号 Page173-175(2008.11) | 血清Se濃度と好中球機能の関連 | 李相潤, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医 学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)60 巻1-4 Page77- 85(2009.03) | 2次元および3次元動作解析法を用いたジャンプ着 地動作中の下肢外反アライメントの比較(LOWER LIMB VALGUS ALIGNMENT COMPARED WITH TWO-AND THREE-DIMENSIONAL MOTION ANALYSIS DURING A DROP JUMP TEST)(英語) | 林慶充, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座 |
| 臨床眼科(0370-5579)62 巻12号 Page1901- 1905(2008.11) | 健常な若年男性に生じた原因不明の黄斑部網膜 下滲出性病変 | 鈴木香, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 |
| 眼科手術(0914-6806)21 巻4号 Page507- 511(2008.10) | 片眼性の成熟白内障でみつかった両側性前部円 錐水晶体の家系 | 鈴木香, ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 講座 |
| Osteoporosis Japan(0919-6307)16巻3 号 Page432- 435(2008.07) | 一般女性における脂質系と音響的骨評価値の相 関に対する検討 | 柞木田礼子, ほか | 弘前大学 医学部 産科婦人科学教室 |

小計10件

合計125件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | |
|---------|---|
| 管理責任者氏名 | 各診療科長, 中央診療施設等各部長, 薬剤部長, 看護部長, 総務課長, 経営企画課長, 経理調達課長, 医事課長 |
| 管理担当者氏名 | 管理責任者が指名する者 |

| | 保管場所 | 分類方法 |
|--|------------------------------------|---|
| 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | 病歴部 | ①カルテ等の紙ベースの診療記録 入院：1患者1カルテ方式 外来：平成19年7月以降の受診歴あり→1患者1カルテファイル方式 ：平成19年7月以降の受診歴なし→1患者1診療科カルテ方式 ②エックス線写真 入院：1患者1フィルム方式 ・平成21年6月以降撮影分から、原則的に画像データ参照方式 外来：1患者1診療科フィルム方式 ・平成20年1月以降撮影分から、原則的に画像データ参照方式 |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 総務課 |
| | 高度の医療の提供の実績 | 総務課 |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 総務課 |
| | 高度の医療の研修の実績 | 総務課 |
| | 閲覧実績 | 総務課 |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医事課 |
| | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医事課 |
| 確保規則の第9条の2及び第3条 | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 総務課 |
| | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 総務課 |
| | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 総務課 |
| | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 医事課 |

| | | |
|---|--|---------|
| 1 条の 1 1 各号 に掲 げる 体制 | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 医療安全推進室 |
| | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 医療安全推進室 |
| | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 医療安全推進室 |
| | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療安全推進室 |

| | | 保管場所 | 分類方法 |
|---|---|----------|------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況 | | |
| | 院内感染のための指針の策定状況 | 感染制御センター | |
| | 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 感染制御センター | |
| | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 感染制御センター | |
| | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 | 感染制御センター | |
| | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 総務課 | |
| | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 薬剤部 | |
| | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | 薬剤部 | |
| 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部 | | |
| 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | 薬剤部 | | |

| | | |
|--|---|--------|
| | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | MEセンター |
| | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | MEセンター |
| | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | MEセンター |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | |
|-------------|---|
| 閲覧責任者氏名 | 病院長 |
| 閲覧担当者氏名 | 各診療科長, 中央診療施設等各部長, 薬剤部長, 看護部長, 総務課長, 経営企画課長, 経理調達課長, 医事課長 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 病院小会議室 |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | |
|-----------|--------|------|
| 前年度の総閲覧件数 | 延 | 0件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 0件 |
| | 歯科医師 | 延 0件 |
| | 国 | 延 0件 |
| | 地方公共団体 | 延 0件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

| | | | |
|------|------------------------|---------|----------------------|
| 紹介率 | 83.6% | 算定期間 | 平成20年4月1日～平成21年3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数 | 9,598人 | |
| | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | 6,952人 | |
| | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | 810人 | |
| | D: 初診の患者の数 | 13,814人 | |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

| | |
|---|---------|
| ① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 有 (3名) |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 有 (1名) |
| ③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 有 |
| ・所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (9) 名 ・活動の主な内容： ① インシデント・アクシデントの調査，集計及び分析 ② 安全管理に関する教育・研修の企画・運営 ③ リスクマネジャーとの連絡調整 ④ その他リスクマネジメントに関すること | |
| ④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 有 |
| ⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 有 |
| ・指針の主な内容： ① 安全管理のための指針 ② 医療事故発生時の対応 ③ 安全確保を目的とした改善のための要点 ④ その他医療安全推進の要点 ⑤ 安全な医療を提供するための職員研修 ⑥ 医療安全管理のための指針の閲覧に関すること | |
| ⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年16回 |
| ・活動の主な内容： ① 医療事故予防・防止に関する情報収集及び対策の検討 ② 医療事故防止マニュアルの作成 ③ 医療事故予防・防止の教育，研修の企画，立案及び実施 ④ 医療事故の調査・報告，原因分析及びその対策 ⑤ 医事紛争の予防・防止及びその対策 | |
| ⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年11回 |
| ・研修の主な内容： ① マニュアルポケット版説明会 ② 深部静脈血栓症について ③ ヒューマンエラー防止に向けて ④ 麻酔管理について ⑤ ヒューマンエラー・低減対策と活動 ⑥ 周術期肺血栓塞栓症をどう予防するか ⑦ 医療事故訴訟に備えて (CD研修) ⑧ KYT研修会 ⑨ 根本原因分析法 (RCA) ⑩ CVカテーテル実施研修 ⑪ BLS講習会 | |

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ① 医療安全推進室の充実（専任の薬剤師1名増員）
 - ② リスクレポートシステムによる報告体制の充実（医師から報告）
 - ③ 院内緊急コール体制の整備
 - ④ 医療安全対策レターの発行
 - ⑤ 医療安全全国共同行動への参加

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | 有 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 院内感染対策 ② サーベイランス ③ アウトブレイク時の対応 ④ 外来トリアージ ⑤ 器材の滅菌・消毒・洗浄 ⑥ マニュアル（指針）閲覧に関する基本方針 | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年12回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 感染対策委員会 1 1 回・感染制御センター会議 1 2 回 ② 院内感染防止対策の検討 ③ 院内感染防止マニュアルの作成 ④ 院内感染防止の教育，研修の企画・運営 | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年8回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 感染対策講演会「抗菌薬耐性菌と院内感染対策」 ② 針刺し事故後対応マニュアル説明会 ③ あなたを護り，患者を護る職業感染予防対策 ④ 微生物検査データからの感染対策 ⑤ 抗菌薬の適正使用—耐性菌を出さないために— ⑥ パンデミックへの備え ⑦ 結核院内感染防止対策マニュアル説明会 ⑧ 感染対策の基本について | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① MRSA 報告・エピネット報告システムの充実 ② サーベイランスの実施 ③ 国立大学附属病院感染対策協議会への参加 ④ インфекションコントロールニュースの発行 | |

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|-----|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 有 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年1回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：実施日：平成20年8月29日 <ul style="list-style-type: none"> ① 医薬品安全責任者の責務並びに医薬品安全管理手順書の内容について、病院に従事するすべての職員を対象に行った。内容は、病棟への医薬品の供給外来患者への医薬品の使用、病院における医薬品の管理及び職員への教育・研修である。 ② 麻薬管理について：麻薬使用に関わる管理の注意点および重要性について説明した。 | |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有) ・ 業務の主な内容：平成21年度は項目10以降を追加した。 記載内容：①医薬品の採用，②医薬品の購入，③調剤室における医薬品の管理，④病棟等への医薬品の供給，⑤外来患者への医薬品使用，⑥在宅患者への医薬品使用，⑦病院における医薬品管理，⑧入院患者への医薬品使用，⑨医薬品情報の収集・管理・提供，⑩手術・麻薬部門，⑪救急部門・集中治療室，⑫輸血・血液管理部門，⑬生命維持管理装置領域，⑭臨床検査部門，画像診断部門，⑮歯科領域，⑯他施設との連携，⑰事故発生時の対応，⑱教育・研修 | |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① 特殊製剤ラベルにおいて、従来表示していた「製剤作成日」を病棟管理面を考慮し、「製剤使用期限」へと変更した。 ② 外観が類似している水薬を病棟に払い出す際、医薬品名記載ラベルを水剤ボトルに貼付することとした。 ③ 外来患者に配布する医薬品情報紙において、従来、散薬に関しては1回服用する量(単位)を「g」で記載していたが、患者が服用方法を確認する際、混乱を招かないよう、(単純明快に)「包」へと変更した。 | |

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|--|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | 有 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・検査部門 不定期 ・放射線部門 年5～6回 ・MEセンター 年9回 |
| <p>・研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査部門：新規検査機器の使用説明会，修理完了時の故障対策説明会 ・放射線部門：メーカーによるアプリケーショントレーニング，熟練者による新人トレーニング，外部団体での研修，各種セミナー，学術講演会への参加。 ・MEセンター：人工呼吸器5回，除細動装置2回，保育器2回，PCPS3回，IABP2回，血液浄化装置1回。その他新人看護師に対するシリンジポンプ，輸血ポンプの安全使用方法について1回。 | |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定（有） ・保守点検の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・検査部門：検査機器マニュアルに添付されている，デューリー，ウィークリー及びマンスリーの保守点検表のチェック ・放射線部門：①定期消耗部品の点検と部品交換，②メーカー指定の耐久時間を経過した部品の交換，③故障初期段階の兆候を察知した時点での点検，修理，部品交換，④過去データから割り出した時期での点検，部品交換。 ・MEセンター：人工心肺装置，PCPS，IABP，閉鎖式保育器は3ヶ月に一度，人工呼吸器は機種に応じて，血液浄化装置及び除細動装置は6ヶ月に一度，シリンジポンプ，輸液ポンプは1年に一度定期点検を行っている。 | |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器に係る情報の収集の整備（有） ・その他の改善のための方策の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・検査部門：MR訪問時の機器説明会 ・放射線部門：①メーカーを交えた勉強会（月1回）の実施，②学会・研究会に職員を派遣し新技術の収集，③HPなどを利用した情報収集，④事例ごとのグループ討議の中での改善策の策定 ・MEセンター：メーカー，代理店及びHPを通じての情報収集を行っている。 医療安全推進室や関連部署には関連部署には文書等で情報提供を行っている。 | |